

いわむら

(1)

昭和55年1月1日

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷 K.K

No.213



岩室村の人口

(11月30日現在) 前月対比

男	4,470人	(+11)
女	4,864人	(+6)
計	9,334人	(+17)
世帯数	2,254世帯	(+3)

(住民基本台帳による)

公民館が完成



「村民の書斎」ともいえる
 希望の公民館が完成しま
 した。
 この公民館は、村が、国
 や県の補助金を含めて、約
 二億九千万円の総経費で六
 月から建設工事を進めてい
 たものです。
 鉄筋三階建て、延べ面積
 一、七四〇平方メートル、
 内部は社会教育活動が存分
 に発揮できる設備が整って
 おり、外観は白に包まれ、
 文化の殿堂そのものです。
 これまで、学習活動や、
 サークル活動をやるうにも
 専門施設がなく、独立公
 民館の設置——は、全村民
 共通の願いでもありまし
 た。この「願い」が今、こ
 こに実現したのです。
 村民憲章にうたわれてい
 る、一人ひとりが誇りある
 村民となるための、積極的
 な自己啓発の場でもあるわ
 けです。
 今月二十五日に合併二十
 周年記念式典とあわせて竣
 工式を行い、開館は二月中
 旬頃になる予定です。
 それぞれ何か自分の目標
 をもって、大いに活用くだ
 さい。

賀正

今年 は サルどし

あけましておめでとうございます。
 昭和五十五年はサル(申)どし。
 ご存じのように、今は新暦以外の暦は一切使わ
 れていませんが、十二支に動物をあてはめたいわ
 ゆるエトだけは、その年のペットネームのように
 して、何となく残っています。
 サルという言葉は「去る」、「サルまね」、「
 「サル知恵」、「サル芝居」などといった調子で、
 どうもあまりいい意味では使われていないよう
 すし、また、サルカニ合戦でも悪役です。
 でもサルを魔よけ、安産、子育て、盗難よけの
 守り神としている地方もあり、サルをかたちど
 ったおもちゃがいろいろあるのも、もとはといえは
 お守りだったものが多いようです。
 この前のサルどし、昭和四十三年ごろは観光ブ
 ームで、各地で競って野性のサルを餌つけて観
 光資源にしはじめました。ヒョウキンものの代名
 詞につかわれるように、動物園などでみる風貌が
 ら思わず微笑んでしまします。
 とにかくサルのように愉快に毎日を生活したい
 ものです。

